
HP Operations Manager

Red Hat Enterprise Linux オペレーティングシステム上の管理サーバー向け

リリースノート

ソフトウェアバージョン: 9.20

リリースノートの発行日: 2014年5月22日

第 1 版

本書では、HP Operations Manager (HPOM) バージョン 9.20 の概要について説明します。これには、マニュアルやオンラインヘルプに記載されていない重要な情報も含まれます。

本書の最初のページには、ソフトウェアのバージョンを表すバージョン番号と発行日が記載されています。発行日は、本書の更新のたびに更新されます。最新の更新を探したり、現在使用しているエディションが最新であるかどうかを確認するには、以下の場所で「Operations Manager for UNIX」を選択してください。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

本書には、以下のトピックに関する情報が記載されています。

- HPOM 9.20 の新機能
- HPOM 9.20 のインストールに関する注意点
- HPOM サポート マトリクス
- HPOM 9.11 で追加された機能
- HPOM 9.20 と他の HP ソフトウェアソリューション
- サポート 廃止について
- 既知の問題、制限、回避策
- ローカル言語のサポート
- ドキュメントの更新情報
- ドキュメントの正誤表
- HP ソフトウェアサポート
- ご注意

HPOM 9.20 の新機能

本項では、HPOM 9.20 リリースで提供される新規サポート 内容、新機能、および機能拡張について説明します。

新機能

HPOM 9.20 に導入された新機能は以下のとおりです。

PostgreSQL データベースサポート

PostgreSQL はオブジェクト 関係データベース管理システム(ORDBMS) で、オープンソースライセンスである PostgreSQL ライセンスのもとでリリースされた、フリーのオープンソースソフトウェアです。

注記 PostgreSQL データベースを使用する HPOM 9.20 は、クラスタ環境ではサポート されていません。

PostgreSQL データベースのインストールについての詳細は、『HPOM 管理サーバー インストールガイド』を参照してください。

HPOM ヘルス モニター

HP Operations 管理サーバーのヘルスは登録されたモニター (特定のリソースのステータスを監視するための特殊 ツール) によって監視され、そのヘルスステータスは登録されたすべてのクライアント に転送されます。登録されたクライアント はヘルスデータを、(登録されたクライアント のタイプに応じて) ファイル、データベース、またはリモート アプリケーションのいずれかに送信します。

ヘルス モニターは、HP Operations 管理サーバープロセスの一部として実行される `opchealth` デーモンによって実行されます。

詳細は、『HPOM 管理者リファレンスガイド』を参照してください。

Agent Running and Reachable

Agent Running and Reachable (ARR) コンポーネント は、ヘルス モニターデーモンで制御できるヘルス モニターです。すべての ARR イベント (`NODE DOWN`、`AGENT DOWN` など) は、ヘルス モニターデーモンによってクライアント に転送されます。詳細は、『HPOM 管理者リファレンスガイド』を参照してください。

エージェント のヘルスチェック

ヘルスチェック (HC) コンポーネント は、管理対象ノードから管理サーバーへの継続的なメッセージフローの制御と、管理対象ノードから受け取る HP Operations Agentのヘルスステータスの監視を行います。詳細は、『HPOM 管理者リファレンスガイド』を参照してください。

イベント ストームフィルター

イベント ストームフィルター (ESF) プログラムは、イベント ストーム(短時間での大量の イベント の生成) が検出されたときに HPOM のイベント をフィルター処理する仕組みを提供します。詳細は、『HPOM 管理者リファレンスガイド』を参照してください。

スマート カード認証

HPOM 9.11 で導入された証明書認証機能が拡張され、CAC だけでなく、あらゆる種類のスマート カードや証明書がサポートされるようになりました。HPOM でスマート カード認証を設定すると、有効な証明書を提供するオペレータだけに HPOM ユーザー インタフェースへのアクセスが制限されます。これにより、セキュリティが強化され、アクセスの手続きが簡素化されます。詳細は、『HPOM 管理者リファレンスガイド』を参照してください。

設定のオンライン同期

複数の管理サーバーが稼働する環境で、一次管理サーバーと他のサーバーとの間の HP Operations 管理サーバーデータの同期を、`opccfgsync` コマンドラインツールを使用して行えるようになりました。詳細は、『HPOM 管理者リファレンスガイド』を参照してください。

非 root での運用

HPOM 管理サーバープロセスを非 root ユーザーのアカウントで実行できるようになりました。非 root ユーザーは、root ユーザーと比較して使用できる権限が制限されたユーザーです。

非 root ユーザーとして HPOM を実行する場合でも、これまで root ユーザーのみで実行されていたタスクのほとんどを実行できます。非 root での運用の制限については、『HPOM コンセプト ガイド』を参照してください。

複数のエージェント インストールインスタンス

複数のエージェント インストールインスタンスを並行して実行 (つまり、複数の `inst.sh` スクリプトを同時に実行) できるようになりました。この機能を有効にするには、`OPC_AGT_MULTI_INST` サーバー設定変数を `TRUE` に設定します。詳細は、『HPOM 管理者リファレンスガイド』を参照してください。

サーバー設定変数の詳細は、『HPOM Server Configuration Variables』を参照してください。

Agent Bootstrap インストール

`inst.sh` スクリプトを使用した新しいリモート エージェント インストール方式が利用できるようになりました。

Agent Bootstrap インストールでは、SSH 通信プロトコルに基づいたセキュアなファイル転送および実行方法を使用します。このために、HPOM は SSH クライアントとして機能するサードパーティ製ユーティリティである PuTTY を使用します。

詳細は、『HPOM 管理者リファレンスガイド』を参照してください。

Java GUI でのメッセージの動的フィルターの作成

ノードレイアウト グループに基づいてメッセージに対する動的フィルターを作成することができます。これは、ノードレイアウト グループが更新 (1 つまたは複数のノードが追加または削除) されたときに、選択したレイアウト グループに属するノードに対するメッセージを表示するようにメッセージフィルターが更新されることを意味します。さらに、フィルターで複数のノードレイアウト グループを選択することもできます。フィルターブラウザにドラッグアンドドロップしてノードレイアウト グループを追加すると、追加したノードレイアウト グループがフィルターリストに表示されます。

新しい変数

次のサーバー設定変数が導入されました。

OPC_AGT_MULTI_INST	OPC_JGUI_ALLOWED_HOSTNAME
OMU_AUDIT_LOG_MAXSIZE ^a	OPC_JGUI_DENIED_HOSTNAME
OMU_NO_AUDIT_PROCS ^a	OPC_JGUI_RECONNECT_FROM_GLOB_SETT
OPC_CASE_SENSITIVE_SEARCH	OPCSVCAM_IGNORE_SVCINSTANCE_CREATE_FAIL_LOGGING
OPC_JGUI_ALLOWED_OPERATOR	OPCUIWWW_LOG_SIZE
OPC_JGUI_DENIED_OPERATOR	

a. この設定変数は監査のサポート用に導入されたものです。

サーバー設定変数の詳細は、『HPOM Server Configuration Variables』を参照してください。

次のメッセージ関連の変数が導入されました。

\$OPC_MSG.TIME_CREATED.HOURS	\$OPC_MSG.TIME_CREATED.YEAR
\$OPC_MSG.TIME_CREATED.MINUTES	\$OPC_MSG.TIME_CREATED.MONTH
\$OPC_MSG.TIME_CREATED.SECONDS	\$OPC_MSG.TIME_CREATED.DAY

監査関連およびメッセージ関連の変数についての詳細は、『HPOM 管理者リファレンスガイド』を参照してください。

機能拡張

次の機能が改良されています。

アクセシビリティ

管理 UI ユーザーおよび Java GUI ユーザーにおいて Web アクセシビリティが改善されています。Web アクセシビリティとは、ハンディキャップのあるユーザーにとって理解しやすい Web サイトにすることです。次の機能が利用できるようになりました。

• Java GUI

- Java GUI での操作に使用するすべての Java GUI 画像に、対応する代替テキスト (「alt テキスト」) が付きます。
- Java GUI でキーアクセラレータがいくつか使用できるようになりました。詳細は、『HPOM Java GUI オペレータガイド』を参照してください。
- 視覚的なフォーカスとタブのシーケンスが改善されています。

• 管理 UI

- 管理 UI のすべてのページにタイトルが付きます。
 - 管理 UI での操作に使用するすべての管理 UI 画像に、対応する代替テキスト (「alt テキスト」) が付きます。
- アクセシビリティが管理 UI に部分的に実装されています。完全なソリューションは、次回の HPOM リリースで利用できるようになる予定です。

管理 UI の使用方法についての詳細は、HPOM 管理 UI ヘルプを参照してください。

Java GUI

itooprc リソースファイルに `def_mvf_operator` というパラメータが追加されています。このパラメータはデフォルトのメッセージ表示フィルターオペレータをカスタマイズするのに使用します。デフォルト値は `contains` です。詳細は、『HPOM Java GUI オペレータガイド』を参照してください。

その他

- サービスのプロファイルへの割り当てが、デフォルトで有効化されるようになりました。これらの割り当てを有効化するのに、`OPCSVC_CONSIDER_PROFILES` 変数を `TRUE` に設定する必要はありません。
- インストールメンテーションのカテゴリを、ポリシー、ポリシーグループ、ノードに加えて、ノードグループにも割り当てることができるようになりました。
- メッセージ変更機能が改善されています。メッセージ属性（オブジェクト、アプリケーション、サービス名、メッセージグループ、重要度、メッセージテキスト）を変更できるようになりました。また、カスタムメッセージ属性の削除も可能になりました。
- Java GUI と管理 UI の両方で、オンラインヘルプシステムをすべて検索できるようになりました。

その他の変更点

- データベースの制限により、サーバー設定変数 `OPC_MAX_DUPL_ANNO` を使用して指定される重複するメッセージ注釈の最大数が 99999 になりました。これより大きな値を設定しても、その値は無視されて、値 99999 が使用されます。値を 0 (デフォルト) に設定した場合、値 99999 が使用されます。
- 管理 UI: `jetty.xml` ファイル内のキーストアのパスワードが暗号化されます。これを変更する場合は、次のコマンドを実行します。

```
/opt/OV/OMU/adminUI/adminui password -u keystore -p <password> -a
```

暗号化されたキーストアのパスワードを取得するだけの場合は、`-a` オプションを指定せずにこのコマンドを実行してください。

また、次のコマンドを実行することにより、パスワードの暗号化版を GUI を介して取得することもできます。

```
/opt/OV/OMU/adminUI/adminui password -u keystore -i
```

注記	この GUI には入力したパスワードの暗号化版が表示されるだけです。管理 UI の設定は変更されません。
-----------	--

新規サポート 内容

HPOM 9.20 では、以下がサポート されます。

- サポート されるデータベースのバージョン**
 - **PostgreSQL データベース 9.1、9.2、9.3**
 - **Oracle Database 11.2.0.4**
Oracle Database 11g Release 2 の Enterprise Edition、Standard Edition、または Standard Edition One 11.2.0.4 がサポート されます。
- QCCR1A173274CentOS Linux 6.x**
CentOS Linux 6.x オペレーティングシステムで、HP Operations 管理サーバーを実行できるようになりました。

重要	Oracle の制約により、HPOM は CentOS Linux 上で動作する Oracle データベースをサポートしていません。
-----------	--

- **QCCR1A157990Oracle Linux 6.x**

Red Hat Compatible Kernel と Unbreakable Enterprise Kernel の両方がサポートされています。

- **サポートされる Web ブラウザ**

- 管理 UI

Microsoft Internet Explorer 11 以上 (CITRIX ではサポートされません)、Chrome 32 以上、Safari 7 以上

- Java GUI

Microsoft Internet Explorer 11 以上、Chrome 32 以上、Safari 7 以上

- **サポートされる JRE バージョン**

- Windows: JRE 1.7.0_51

- Linux および Solaris: JRE 1.7.0_25

- HP-UX: JRE 1.7.0_21

注記	HPOM 9.20 によりサポートされるバージョンの最新情報は、「HPOM サポートマトリクス」(9 ページ)を参照してください。
-----------	---

HPOM 9.20 のインストールに関する注意点

HPOM 9.20 のインストール要件とインストール手順は、『HPOM 管理サーバーインストールガイド』に記載されています。HPOM のインストールが完了すると、このドキュメントは以下の場所に格納されます。

`/opt/OV/www/htdocs/ito_doc/C/manuals/InstallationGuide.pdf`

ご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。

<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

HPOM メディア DVD に収録されている readme ファイル (README.txt) には、HPOM メディア DVD の内容と構成、および製品とマニュアルが格納される場所に関する説明があります。

ハードウェア要件

『HPOM 管理サーバーインストールガイド』に記載されている要件リストに加え、次のハードウェア要件をシステムが満たしていることを確認してください。

- HP Operations Agent に必要なディスク容量は、プラットフォームによって異なります。HP Operations Agent のディスク容量要件についての詳細は、HP Operations Agent のドキュメントを参照してください。

ソフトウェア要件

本項では、「HPOM サポートマトリクス」(9 ページ)に記載されていない追加のソフトウェア要件を示します。

Oracle データベース

Oracle データベースでは、前提条件とされるいくつかの OS パッチをインストールする必要があります。これは、以下の場所からダウンロードできます。

- **Oracle 11.1 の場合:**
http://docs.oracle.com/cd/B28359_01/install.111/b32285/toc.htm
- **Oracle 11.2 の場合:**
http://docs.oracle.com/cd/E11882_01/install.112/e24326/toc.htm

パッチは、オペレーティングシステムの公式サイトで入手できます。

Oracle データベースのインストールと設定についての詳細は、『HPOM 管理サーバーインストールガイド』を参照してください。

Java GUI

HPOM Java GUI をインストールする前に、システムがハードウェアおよびソフトウェア要件を満たしていることを確認してください。

HPOM には、サポートされるすべてのプラットフォーム用の JRE がバンドルされています。サポートされる JRE バージョンについては、次の場所にあるサポートマトリクスを参照してください。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/document/KM323488>

JRE をインストールしたディレクトリの位置を、次の例のように `JAVA_DIR` 環境変数に設定します。

```
export JAVA_DIR=/opt/OV/nonOV/jre/b
```

HP Operations Agent

HP Operations Agent ソフトウェアは、HPOM 9.20 以降のバージョンには付属されなくなりました。サポートされているエージェントのバージョンについては、エージェントメディア 11.1x を HP に依頼して入手してください。

重要 HP Operations Agent をインストールするための前提条件として、システムは、オペレーティングシステムに固有のソフトウェア要件およびハードウェア要件を満たしている必要があります。サポートされるプラットフォームについての詳細は、「HPOM サポートマトリクス」(9 ページ)を参照してください。要件についての詳細は、HP Operations Agent のドキュメント (<http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>) に記載されています。

HPOM のインストール時には、エージェントソフトウェアの場所の入力が求められるため、必ずエージェントソフトウェアにアクセスできるようにしておいてください。エージェントは、インストール後に管理対象ノードに配布します。

注記 IPv6 ベースのサーバーとエージェント間の通信に最低限必要な HP Operations Agent のバージョンは 11.13 です。IPv6 を使用するための HPOM 環境の設定方法の詳細は、『HPOM 管理者リファレンスガイド』を参照してください。

バージョン 11.03 以降の HP Operations Agent の Force オプションを使用したインストールでは、プロファイルファイルが読み込まれます。HP Operations Agent を正常にインストールするためには、この点に注意してください。次のファイルで MINPRECHECK オプションなどの設定可能な値を指定する必要があります。

```
/etc/opt/OV/share/conf/OpC/mgmt_sv/bbc_inst_defaults
```

これらの値はプロファイルファイルに格納され、Force オプションを指定したエージェントのインストール時に読み込まれます。

クラスタ環境

HP Operations 管理サーバーは、HP Operations Agent がクラスタノードにすでにインストールされているクラスタ環境にインストールできます。

管理 UI

管理 UI をインストール、更新、または再接続する際に、製品の JavaScript コードの変更が原因で問題が発生する可能性があります。これらの問題を回避するには、ブラウザのキャッシュを消去するか、Web アプリケーションサーバーに再接続した後で「Shift-再読み込み」を使用します。

管理 UI のインストールと設定に必要な前提条件およびインストール手順についての詳細は、『HPOM 管理サーバーインストールガイド』を参照してください。

HPOM サポート マトリクス

HPOM でサポート されるオペレーティングシステムバージョンの最新情報は、次の場所にあるサポート マトリクスを参照してください。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/document/KM323488>

適切な製品サポート サービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HP の営業担当にお問い合わせください。

注記

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passport ユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。サポートのアクセスレベルの詳細を確認するには、以下の URL にアクセスしてください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

HP Passport に登録して ID を取得するには、以下の URL にアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

HPOM 9.11 で追加された機能

本項では、HPOM 9.11 で追加された最も特徴的な機能について説明します。

HPOM 9.11 で追加された機能は以下のとおりです。

- **CAC 認証**

HPOM では、ユーザーの認証とユーザーへの権限付与のために CAC テクノロジーがサポートされています。HPOM で CAC 認証を設定すると、正しい CAC に正しい証明書を使用したオペレータだけに HPOM ユーザーインターフェースへのアクセスが許可されます。これにより、セキュリティが強化され、アクセスの手続きが簡素化されます。

HPOM 9.20 では、CAC 認証はスマートカード認証機能の一部として利用できます。詳細は、『HPOM 管理者リファレンスガイド』を参照してください。

- **IPv6 ベースの通信**

HPOM は、IPv6 インターネットプロトコルベースのネットワークを介した通信をサポートしています。

IPv6 ベースのサーバーとエージェント間の通信に必要な HP Operations Agent のバージョンは 11.13 です。

IPv6 を使用するための HPOM 環境の設定方法の詳細は、『HPOM 管理者リファレンスガイド』を参照してください。

重要	HPOM 9.11.xx で CAC 認証や IPv6 ベースの通信を使用するには、HPOM 9.11 のパッチをすべてインストールしておく必要があります。パッチとインストールの詳細は、『HPOM リリースノート』のバージョン 9.11.100 を参照してください。
-----------	---

HPOM 9.11 の新機能、機能拡張、その他の変更点についての詳細は、『HPOM リリースノート』のバージョン 9.11 を参照してください。

HPOM 9.20 と他の HP ソフト ウェ アソリューション

統合

HPOM 9.20 は、他の HP ソフト ウェ アソリューション (Network Node Manager i (NNMi)、Business Service Management (BSM) など) と統合できます。完全なリストと詳細については、以下の場所にあるサポート Web サイトをご覧ください。http://support.openview.hp.com/sc/integration_catalog.jsp

共存

HPOM 9.20 は、同一システム上で以下の HP ソフト ウェ ア製品と共存できます。

- HP Operations Agent 11.1x
- HP Performance Manager 9.xx
- SiteScope 11.12 以降

一部の HP ソフト ウェ ア製品がすでにインストールされているシステムには、HPOM 9.20 をインストールできません。以下の HP ソフト ウェ ア製品は、HPOM と併用することは可能ですが、リモートシステムにインストールされている必要があります。

- Network Node Manager i (NNMi) 8.xx および 9.xx
- Business Service Management (BSM) 9.xx

サポート 廃止について

本項では、HPOM の今回のリリースでサポート が廃止された機能を示します。

廃止されたドキュメント

以下のドキュメント は HPOM に付属しなくなりました。

- 『HPOM Administration UI Release Notes』
このドキュメント に記載されていた情報は、『HPOM リリースノート』(本書) に記載されています。
- 『HPOM HTTPS Agent Concepts and Configuration Guide』
このガイドに記載されていた情報は、HPOM の各種マニュアルと HP Operations Agent のマニュアルに分配されました。
- 『HPOM Administration UI Administration and Configuration Guide』
このガイドに記載されていた情報は、『HPOM 管理者リファレンスガイド』で提供されています。
- 『HPOM 管理 UI インストールガイド』
このガイドに記載されていた情報は、『HPOM 管理サーバー インストールガイド』に記載されています。
- 『HPOM 管理 UI ユーザーガイド』
ユーザー関連の内容については、『HPOM 管理 UI ヘルプ』を使用できます。これは、HPOM 管理 UI オンラインヘルプの PDF 版です。
- 『HPOM Custom Process Management White Paper』
このホワイト ペーパーに記載されていた情報は、『HPOM 管理者リファレンスガイド』に記載されています。
- 『HPOM High Availability Manager White Paper』
このホワイト ペーパーに記載されていた情報は、『HPOM 管理者リファレンスガイド』に記載されています。
- 『HPOM Authenticating Administration UI Users Using PAM or LDAP White Paper』
このホワイト ペーパーに記載されていた情報は、『HPOM 管理者リファレンスガイド』に記載されています。

その他

- HPOM 9.20 では、`opcpkgdwn` ツールは使用されなくなりました。
- 09.0X.300 コアパッチで導入された HPOvOprEl バージョン 2.11 以降では、`opr.el` 名前空間内でライセンス関連の設定 `SwitchOffWarning` および `Severity` は使用されません。
- 以下のツールが HP Operations 管理サーバーから削除されました。`SelfMon`、`dhcp_postproc.sh`、ホットフィックス配布ツール、および `ServiceMOMExample.tar`。
- Microsoft Internet Explorer 8 と Mozilla Firefox 17 のサポート は廃止されました。

- ECS Designer のサポート は廃止されました。このため、ECS サーキット は HPOM 上で変更できません。ただし、インポート は引き続き行えます。詳細は、『HPOM コンセプト ガイド』を参照してください。

既知の問題、制限、回避策

HPOM 9.20

管理サーバー

症状 QCCR1A155877

ovocomposer で Java 1.7 のサポート が必要

ovocomposer -ui コマンドを実行したときに、次のエラーメッセージが表示されます。

```
ERROR: The current version of java (1.7) is not supported. INFO : The supported java versions are: 1.5 and 1.6.
```

解決策

HP サポート からホット フィックスを入手できます。

症状 QCCR1A172348

mondbfile ポリシーが、関係ないにもかかわらず、PostgreSQL と非 root 環境に割り当てられています。

解決策

mondbfile の呼び出しは PostgreSQL と非 root 環境に影響を及ぼしません。そのため、mondbfile ポリシーの割り当ては手動で削除できます。Oracle と root での運用に切り替える場合は、このポリシーを切り替え後の環境で使用できるように、必ずポリシーの再割り当てを行ってください。

症状 QCCR1A173361

選択されたオペレータの Oracle SQL レポート に、間接的に割り当てられたアプリケーションが表示されない

Oracle sel_oper SQL レポート に、選択されたオペレータに間接的に割り当てられているアプリケーションが表示されません。

解決策

現在のところ、利用可能な解決策はありません。

症状 QCCR1A174531

データベースが PostgreSQL の場合でも、アップグレード時に HPOvOUOracleB パッケージにより OpC/db バイナリが Oracle に再リンクされる

HPOM で PostgreSQL データベースが使用されている場合でも、HPOvOUOraB パッケージのインストールまたはアップグレードにより、HPOM バイナリが Oracle バージョンに再リンクされます。

HPOvOUOraB パッケージがインストールまたはアップグレードされると、次のリンクが /opt/OV/bin/OpC に作成されます。

```
opcsvcupl -> db/opcsvcupl
opc_dbinit -> db/opc_dbinit
opcdbinst -> db/opcdbinst
opcagtdbcfg -> db/opcagtdbcfg
opcactupl -> db/opchistupl
opcadddbf -> db/opcadddbf
opcdbmsgmv -> db/opcdbmsgmv
opcactdwn -> db/opcactdwn
```

```
opcsvcdwn -> db/opcsvcdwn
opcunack -> db/opcunack
opchistdwn -> db/opchistdwn
opcuistartupmsg -> db/opcuistartupmsg
opcack -> db/opcack
opchistupl -> db/opchistupl
opccfgdwn -> db/opccfgdwn
opcswpatch -> db/opcswpatch
opccfgupld -> db/opccfgupld
opcdbidx -> db/opcdbidx
opcdbpwd -> db/opcdbpwd
```

このため、HPOM で PostgreSQL データベースを使用している場合はサーバーエラーが発生します。

解決策

psql コマンド `opcdblink` を実行して、適切なリンクを作成します。

症状 QCCR1A174127

HP Operations 管理サーバーの削除後に HA Manager デーモンが実行されたままになる

HA Manager が設定されていて実行中の場合、`ovoremove` ツールを使用して HP Operations 管理サーバーを削除した後も、HA Manager は実行中のままになります。

解決策

HP Operations 管理サーバーを削除する際に、`opchamgr` の PID を確認し、このプロセスを `kill` コマンドを使用して停止します。

症状 QCCR1A172313

データベースの再初期化後に管理 UI および SiteScope の設定をアップロードする必要がある

データベースの再初期化では、デフォルト インストールのすべてのポリシーがアップロードされる訳ではありません。`opcdbinit -c` を使用してデータベースを再初期化した場合、SiS や SPI などの設定コンポーネントはアップロードされません。HP Operations 管理サーバーのデフォルト 設定のみがアップロードされます。

解決策

データベースを再初期化する前に、`opccfgdwn` ツールを使用してすべての設定をダウンロードします。データベースを再初期化した後に、`opccfgupld` ツールを使用してダウンロードした設定をアップロードします。

症状 QCCR1A130743

I/O アプリケーションの終了後にウィンドウが閉じない

Java GUI から起動した I/O アプリケーションの正常終了後に、次の出力が表示されます。

```
rlogin:connection closed.
```

ただし、ウィンドウは表示されたまま閉じません。

解決策

右上にある [X] ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。

症状 QCCR1A144819

純粋なセルフ モニタリングと エージェント のヘルスチェックとの間のメッセージ関連処理が存在しないため、メッセージが重複している

セルフ モニタリング機能と エージェント のヘルスチェックコンポーネントを使用した場合、エージェント のヘルスステータスに関するアラームメッセージが重複することがあります。つまり、セルフ モニタリングからのアラームメッセージとヘルスチェックからのメッセージの両方で、エージェント 関連の同一の問題が報告される可能性があります。これを防止するためのメッセージ関連処理のような仕組みはありません。

解決策

メッセージブラウザで重複した (セルフ モニタリングの) アラームメッセージを手動で確認します。

症状:

Agent Bootstrap インストール方式で、UNIX または Linux 管理サーバーから Windows ノードへのエージェントのインストール時にエラーが表示される

Agent Bootstrap で次のエラーが表示されます。

エラー : Windows ノードでは、Agent Bootstrap アクセス方法はサポートされていません。

このエラーが発生しても インストールは停止しません。

解決策

インストールはサポート されているモードで続行するため、このメッセージは無視してかまいません。

症状:

11.13.007 の HP Operations Agent を インストールする際に Agent Bootstrap インストール方式が失敗する

Agent Bootstrap モードで実行した場合、inst.sh スクリプト は次のエラーを生成して終了します。

```
ERROR: (depl-81) Unable to deploy 'OVO-Agent.xml' to node
'<agenthostname>'.
(depl-301) Command '/bin/sh -c "/opt/OV/bin/OpC/agtinstall/
runplink.sh ***** root example.example.com "/bin/
rm -rf "/var/opt/OV/installation/inventory/
Operations-agent_OALIN_00031.xml"' terminated with an error:

/bin/rm: missing operand
Try `bin/rm --help' for more information.
```

解決策

次のいずれかの解決策を選択します。

- Agent Bootstrap 方式の代わりに、管理サーバーベース (オプション = 1) のインストール方式を使用します。
- エラーメッセージを無視して、ovc -start を使ってリモート エージェントを手動で開始します。その後、opcragt -status <agent_hostname> を使用して、エージェントとサーバー間の基本的な通信を確認します。

症状 QCCR1A142521

HP Operations Agent 11.xx を インストールする際に Windows インストールサーバー方式が失敗する

HP Operations Agent 11.xx をホスト する専用の Windows システム上でインストールサーバーのインストールと設定を正常に実施した後に、ターゲットノードで HP Operations Agent 11.xx を インストールしようとしたときに、inst.sh スクリプト が失敗します。次の出力が表示されます。

```
Trying to contact HPOM at <target_win_node> (still 40 cycles) ...
```


The following error appears in System.txt:

```
(depl-81) Unable to deploy 'OVO-Agent.xml' to node '<target_win_node>'.  
Exeinst failed (depl-385) Command 'oasetup.exe -install -no_start -no_boot ' failed with the return  
code '10001' on the node '<target_win_node>'^M  
0: ERR: Wed May 23 14:31:58 2012: ovdeploy (14535/1): (depl-84) Unable to download 'oainstall.log'  
from node '<target_win_node>'.^M
```

解決策

標準の管理サーバーベース (オプション = 1) のインストール方式を使用します。

症状 QCCR1A174851

/tmp ディレクトリに十分な空き容量がない場合に、管理 UI をインストールできない

/tmp ディレクトリに十分なディスク容量がない場合に、管理 UI をインストールできません。
/var/opt/OV/log/OpC/mgmt_sv/installation.log.verbose ログファイルに次のエラーメッセージが表示されます。

WARNING: /tmp does not have enough disk space!

解決策

この問題を解決するには、次の手順に従ってください。

- 新しいターミナルウィンドウで、次の操作を行います。
 - /tmp ディレクトリで、installation.log.verbose ログファイルの記載と同じくらいの空き容量があることを確認します。
 - /opt/OV/bin/OpC/install/checkpoints.conf ファイルから次の行を削除します。

CONFIGURE.INSTALL_ADMINUI:DONE
 - /opt/OV/OMU ディレクトリを削除します。
- 以前のインストールで使ったターミナルウィンドウで、管理 UI のインストールプロセスを repeat オプションを選択して再度行います。

HPOM 管理 UI をインストールしています 失敗

[repeat,skip,back,exit,?]: repeat

症状 QCCR1A174234

イベントストームが実際に発生する前に、最後のメッセージがイベントストームフィルターで誤って除外されることがある

イベントストームが実際に発生する前に、最後のメッセージがイベントストームフィルターコンポーネントで誤って除外されることがあります。この現象は、flood_gates.conf ファイルの PERIOD パラメータが最短間隔 (1 分) に設定されている場合に発生することがあります。

解決策

flood_gates.conf ファイルの PERIOD パラメータは最短間隔 (1 分) に設定しないでください。このパラメータには 2 分以上の間隔を設定し、RATE パラメータの再計算を適宜行ってください。たとえば、次のように値を変更します。

RATE=3

PERIOD=1

上記を次のように変更します。

RATE=6

PERIOD=2

症状:

同時エージェント インストールのインスタンスの数が制限されていない

複数エージェントの同時インストールを有効にしている (OPC_AGT_MULTI_INST が TRUE に設定されている) 場合は、同時に実行できるエージェント インストールのインスタンスの数は制限されません。オペレーティングシステムに関する数 (ユーザーカーネルパラメータあたりの最大プロセス数や最大オープンファイル数など) のみ制限されます。

解決策

複数のエージェントを同時にインストールする場合は、実行するインストールインスタンスの数の数に留意してください。少数のインスタンス (たとえば、10 個のインスタンスなど) から始め、インストールに問題が発生しない場合には、妥当な数 (20 や 30 など) に増やすことをお勧めします。

IPv6 プロトコル

症状 QCCR1A168997

IsIPv6Enabled 変数が TRUE に設定されている場合、IPv4 リモート エージェント (11.13.007) のインストールが失敗する

IPv6 環境では、IsIPv6Enabled 変数を TRUE に設定する必要があります。ただし、この変数が TRUE に設定されている場合、IPv4 リモート エージェント (11.13.007) のインストールは失敗します。

解決策

これを回避するには、次の手順に従ってください。

1. IPv4 エージェントをインストールする前に、一時的に IsIPv6Enabled 変数を FALSE に設定します。これを行うには、次のコマンドを実行します。

```
ovconfchg -ns sec.cm.server -set IsIPv6Enabled FALSE
```

2. 次のコマンドを実行して、証明書サーバーを再起動します。

```
ovc -restart ovcs
```

SiteScope 統合

症状:

新しい Tomcat パッケージ 07.00.053 が原因で、SiteScope を Java GUI から使用できません。

解決策

1. /opt/OV/nonOV/tomcat/b/www/webapps/topaz/WEB-INF/web.xml ファイルで、<!-- と --> を使用して 203 行前後を次のようにコメントアウトします。

```
<!--
    <taglib>
      <taglib-uri>/tags/jstl-core</taglib-uri>
      <taglib-location>/WEB-INF/act/tlds/c.tld</taglib-location>
    </taglib>
-->
```

2. /opt/OV/nonOV/tomcat/b/conf/catalina.properties ファイルの末尾に次の行を追加します。

```
org.apache.jasper.compiler.Parser.STRICT_WHITESPACE=false
```

3. 以下の方法で ovtomcatB プロセスを再起動します。

```
/opt/OV/bin/ovc -restart ovtomcatB
```

症状:

SiteScope 検出ポリシーが設定されている場合に、AutoDiscovery サービスが Java GUI に表示されません。

解決策

AutoDiscovery サービスを次のように手動でオペレータに割り当てます。

```
/opt/OV/bin/OpC/opcservice -assign opc_adm AutoDiscovery
```

Java GUI

症状 QCCR1A166339

取り外した Java GUI ウィンドウが前面に移動しない

ウィンドウマネージャから実行されている場合、取り外した Java GUI ウィンドウは前面に移動しません。

メインウィンドウで使用できるメニューには、取り外したすべてのウィンドウに関する項目が含まれてはいません。取り外したウィンドウを前面に移動する項目がありません。

解決策

Windows クライアントの Java コンソールを使用し、ウィンドウマネージャの制限を回避してください。

症状 QCCR1A170203

アプリケーションからフォーカスが外れると、Web ブラウザでキーボードを使用できない

アプリケーションからフォーカスが外れると、アプリケーションにフォーカスが戻るまで Web ブラウザでキーボードを使用できません。

解決策

1. デスクトップ Java GUI を使用します。
2. Java GUI をアプレットとして使用する場合は (キーボードのみ使用)、フォーカスが外れた後で Java GUI アプリケーション内をクリックします。これにより、フォーカスがアプレットに戻ります。

管理 UI

症状 QCCR1A156408

opcmsgsrpt ツールを使用するメッセージレポートでエラーが報告される

ユーザーを指定する際に opcmsgsrpt ツールの -n パラメータが欠落していると、エラーが表示されます。

解決策

レポートを編集し、プログラムフィールドでツール名の後に -n パラメータを追加します。

症状 QCCR1A170186

[検索] -> [検索対象] ページのネットタイプに誤りがある

[HPOM] -> [検索] -> [検索対象] で [ノード] を選択したときに表示されるネットワークタイプリストに、無効な値が含まれています。

解決策

次のオプションを無視します: 「SNA」、「Novell」、「DEC」

症状 QCCR1A158228

オペレーション後にメッセージで D_policytype ラベルが解決されない

オペレーションの終了後、使用されたポリシータイプの代わりにメッセージボックス内に D_policytype ラベルが表示されます。たとえば、ポリシータイプを選択した後に、アクションメニューから [ショッピングカートに追加] を実行します。

解決策

現在のところ、利用可能な解決策はありません。

症状 QCCR1A172235

メニューに無効なオプションがある場合に、アクションまたは参照メニューからキーボードフォーカスが失われる

無効なオプションのあるオブジェクトでアクションメニューを開き (例: [HPOM]-> [参照] -> [すべてのノード]), [ノードを有効化...] オプションが現れるまでメニューをたどると (矢印を使って下方向に移動)、フォーカスが失われます。

解決策

矢印を使って上方向に移動して、無効なオプションをスキップします。

症状 QCCR1A172201

[ノードデフォルトの詳細] ページで、non_ip/other/other のマシンタイプ属性の値が正しくない

non_ip/other/other を選択するか、ノードデフォルトのリストのアクションメニューから [表示] をクリックした場合、表示される詳細ページに non_ip/other/other ではなく Machine type 属性値 other other が表示されます。

症状 QCCR1A174964

正常起動後に管理 UI をアップグレードできない

管理 UI アップグレードプロセスが正常に起動すると、次のメッセージが表示されます。

```
HPOM 管理 UI をアップグレードしています . . . . . OK  
[repeat,skip,back,exit,?] :
```

解決策

リターンコードが OK の場合は、skip オプションを選択して操作を続けます。

```
HPOM 管理 UI をアップグレードしています . . . . . OK  
[repeat,skip,back,exit,?] : skip
```

症状 QCCR1A175109

管理 UI のパスワードツールの実行中に jetty.xml ファイルが見つからない

管理パスワードツールで jetty.xml ファイルの暗号化された管理 UI パスワードを変更しようとする、次のエラーが表示されます。

更新するファイルが見つかりません: /opt/OV/OMU/adminUI/conf/jetty.xml

この現象は、管理 UI のパスワードツールが相対パスを使用しているため発生します。

解決策

管理 UI のパスワードツールコマンドは、必ず /opt/OV/OMU/adminUI ディレクトリで実行してください。

症状 QCCR1A175073

ショッピングカートメカニズムを使用して要素をダウンロードすると応答が停止する

管理UIのショッピングカートメカニズムを使用して要素をダウンロードすると、プロセスの応答が停止します。

解決策

[Stop loading this page] ブラウザボタンをクリックし、ダウンロードをやり直してください。

症状 QCCR1A175206

管理 UI のスマート カードと Internet Explorer の諸問題

管理 UI 用のスマート カード証明書を Internet Explorer で初めて読み込むと、スマート カードパスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。パスワードを入力しても、管理 UI のログオンページは開きません。ログオンページは、管理 UI を再ロードし、証明書の一覧から正しい証明書を再度選択しないと開きません。新たに起動した管理 UI では、適切なスマート カード証明書が使用されます。

解決策

Firefox または Google Chrome を使用してください。Firefox の場合は、CAC リーダーをセキュリティ デバイスとして使用するよう設定する必要があります。

ローカライズ

症状 QCCR1A174059

opcragt または opcsv -version の出力の日付フォーマットが翻訳されていない

opcragt または opcsv -version の出力の日付フォーマットは翻訳されていません。英語で表示されます。

症状 QCCR1A174055

[About Java GUI] フォームの日付フォーマットが正しくない

[About Java GUI] フォームで、ビルド日に関連するメッセージが米国の日付フォーマットになっています。

症状 QCCR1A174063 opchealth2txt.sh の使用方法の翻訳が正しくない

opchealth2txt.sh -h の出力が正しく翻訳されていません。また、health オプションと status オプションの説明が同じです。

解決策

正しいオプション形式の説明は次のとおりです。

- health <ヘルスレコード>: ヘルスレコードをローカライズされたテキストに変換します
- status <ステータスレコード>: ステータスレコードをローカライズされたテキストに変換します
- issue <問題レコード>: 問題レコードをローカライズされたテキストに変換します

HPOM 9.xx リリース

HPOM 9.xx リリースで明らかになっている問題、制限事項、および回避策は、『HPOM リリースノート』のバージョン 9.11.100 を参照してください。

ローカル言語のサポート

HPOM は、多言語環境で使用できます。

HPOM 管理サーバー上の認定エンコーディングとキャラクタ セット

HPOM 管理サーバーと Oracle データベースのホスト システムに設定 する必要がある認定エンコーディングとキャラクタセットは以下のとおりです。

- HPOM ノードのエンコーディング キャラクタ セット : UTF-8
- Oracle データベースのコード セット : AL32UTF8
- Linux 言語変数 LANG:
 - 英語: en_US.UTF-8、en_GB.UTF-8
 - スペイン語: es_ES.UTF-8
 - 日本語: ja_JP.UTF-8
 - 韓国語: ko_KR.UTF-8
 - 簡体字中国語: zh_CN.UTF-8

ドイツ語やフランス語など、その他のロケールもサポートされています。サポートされるキャラクタセットについては、『HPOM 管理者リファレンスガイド』を参照してください。

重要	UTF-8 は、HPOM データベースでサポート される唯一のエンコーディングです。
-----------	--

サポートのローカライズ

HPOM 9.20 は、以下の言語にローカライズされたサポートを提供します。

- 日本語
- 韓国語
- 簡体字中国語
- スペイン語

このサポートの範囲は言語ごとに異なります。各言語のサポート内容を以下の表にまとめています。

表 1 ソフトウェアのローカライズ

ロケール		英語	日本語	韓国語	簡体字中国語	スペイン語
管理 UI		✓	✓	✓	✓	✓
Java GUI		✓	✓	✓	✓	✓
マニュアルページ		✓				
インストール		✓	✓	✓	✓	✓
HTTPS エージェント メッセージ カタログ	イベント アクション	✓	✓	✓	✓	✓
	組み込み Performance Agent	✓				
エンコーディング/データ ベースのキャラクタセット		UTF-8 AL32UTF8	UTF-8 AL32UTF8	UTF-8 AL32UTF8	UTF-8 AL32UTF8	UTF-8 AL32UTF8

表 2 HPOM 9.20 ドキュメントのローカライズ

ロケール	英語	日本語	韓国語	簡体字中国語	スペイン語
『HPOM 管理者リファレンスガイド』	✓	✓			
『HPOM コンセプトガイド』	✓	✓			
『HPOM インストールガイド』	✓	✓			
『HPOM リリースノート』	✓	✓			
『HPOM Java GUI オペレータガイド』	✓	✓			
『HPOM 管理 UI ヘルプ』	✓	✓			
Java GUI オンラインヘルプ	✓	✓			
管理 UI オンラインヘルプ	✓	✓			

注記 ローカライズされたマニュアルの最新バージョンについては、以下の Web サイトでご確認ください。
<http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

ドキュメントの更新情報

HP Operations 管理サーバー、Java GUI、および管理 UI の前回リリース (バージョン 9.11) 以降に追加または更新されたユーザードキュメントは、次のとおりです。

- 『HPOM Server Configuration Variables』
- 『HPOM Open Source and Third-Party License Agreements』
- 『HPOM コンセプト ガイド』
- 『HPOM 管理者リファレンスガイド』
- 『HPOM 管理サーバー インストールガイド』
- 『HPOM Java GUI オペレータ オンラインヘルプ』
- 『HPOM Java GUI オペレータ ガイド』¹
- 『HPOM 管理 UI オンラインヘルプ』
- 『HPOM 管理 UI ヘルプ』²
- 『HPOM Reporting and Database Schema』
- 『HPOM Firewall Concepts and Configuration Guide』
- 『HPOM Service Discovery and Topology Synchronization Guide』
- 『HPOM Deploying SiteScope Configuration Guide』
- 『HPOM Web Services Integration Guide』
- 『HP Correlation Composer User's Guide for HPOM and HPNNM』
- 『HPOM MessageStorm Detection White Paper』
- 『HPOM Licensing Best Practices and Reporting White Paper』
- 『HPOM High Availability Through Server Pooling White Paper』
- 『HPOM Installing HP Operations Agents Using Clone Images』

1. Java GUI オンラインヘルプの PDF 版
2. 管理 UI オンラインヘルプの PDF 版

ドキュメントの正誤表

以下の項目は、ドキュメントに正しく記述されていません。

場所 誤り 訂正	『HPOM コンセプト ガイド』 非管理対象ノードの管理に関する説明に間違いがあります。 非管理対象ノードを管理する際に、プロセスは停止されません (該当ノードに関するメッセージが破棄されるだけです)。
場所 誤り 訂正	『HPOM 管理サーバー インストールガイド』 次のテキストがありません。 /tmp ディレクトリに十分な空きディスク容量があることを確認してください。ディスク容量が不足している場合は、管理 UI をインストールできないことがあります。

HP ソフト ウェ アサポート

以下の場所にある HP ソフト ウェ アサポート Web サイトをご利用いただけます。

www.hp.com/go/hpsoftwaresupport

このサイト では、HPのお客様窓口のほか、HPソフト ウェ アが提供する製品、サービス、およびサポート に関する詳細情報をご覧いただけます。

HP Software オンラインソフト ウェ アサポート は、お客様がご自身で問題を 解決するための情報を提供します。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポート ツールに、素早く 効率的にアクセスできます。サポート 契約されているお客様がサポート サイト で実行できることは以下のとおりです。

- 関心のあるナレッジドキュメント の検索
- サポート ケースの登録と エンハンスメント 要求のト ラッキング
- ソフト ウェ アパッチ のダウンロード
- サポート 契約の管理
- HP のサポート 契約を 参照する
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフト ウェ アカスタマーとの意見交換
- ソフト ウェ アトレーニングの検索と 登録

一部のサポート を除き、サポート のご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく 必要があります。また、多くのサポート のご利用には、サポート 契約が必要です。サポート のアクセスレベルの詳細を確認するには、以下の URL にアクセスしてください。

http://support.openview.hp.com/new_access_levels.jsp

HP Passport に登録して ID を取得するには、以下の URL にアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

ご注意

保証について

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211 および 12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

©Copyright 1993-2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe® および Acrobat® は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

HP 9000コンピューターに搭載のHP-UX 10.20以降および11.00以降(32ビット および64ビット 構成) はすべて、Open Group UNIX 95ブランドの製品です。

Intel®, Itanium®, Pentium® はアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションの登録商標です。

Javaは、Oracle Corporationおよびその関連会社の登録商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

Oracleは、Oracle Corporationおよびその関連会社の登録商標です。

UNIX® は、The Open Groupの登録商標です。

